

## 令和4年度 第3回生駒市社会教育委員会議録（要約筆記）

1 日時 令和5年2月15日（水）午前10時～午前11時45分

2 場所 生駒市役所 大会議室

3 出席者

（委員）大谷裕美子委員（議長）・吉川祐一委員（副議長）・岩本博子委員・大辻哲男委員・岡島保弘委員・岡本純子委員・上武敏一委員・神田貴司委員・坂本剛伸委員・清水泰之委員・中嶋宏明委員・連靖和委員

（事務局）八重生涯学習部長・清水生涯学習課長・井川生涯学習課長補佐・西野図書館長・錦図書館課長兼北分館長・谷江図書館南分館長・入井駅前図書室室長・西スポーツ振興課長・和田生涯学習課主幹兼生涯学習係長・須田生涯学習課主任

（欠席者）浦林直子委員・土本みさ子委員

（会議の公開・非公開） 公開

（傍聴者）なし

4 議事内容

- ・委員交代の報告
- ・令和5年度生駒市社会教育基本方針及び重点目標について
- ・重点目標にかかる主要事業について
- ・質疑応答

### ■委員交代の報告

生駒市自治連合会選出委員の交代により、松尾正則委員から坂本剛伸委員に。

坂本委員より就任のご挨拶

### ■令和5年度生駒市社会教育基本方針及び重点目標（案）について（各課より説明）

重点目標「1」・「3」 生涯学習課より

「2」 図書館より

「4」 スポーツ振興課より

■重点目標にかかる主要事業について（担当課より説明）

- ischool の取組（生涯学習課）
- 新たな地域クラブ推進事業（スポーツ振興課）
- 図書館本館リニューアルワークショップほか（図書館）

■質疑応答

中嶋委員 ischool について、誰をターゲットにしてどのように地域活動へ繋がっているのか、もう少し説明していただきたい。

事務局 ターゲットは主に働き盛り世代である。ischool で実施する学びのテーマの1つに「生駒のまちを知る」がある。フィールドワークなどを通して市内で特色のある場所や地域活動の紹介などを行うことで、参加された方に市内でどんな活動があるのかを知ってもらい、地域活動への関心や参加につなげるきっかけとしている。

中嶋委員 ischool のポータルサイトを見ると、講演会のレポートが掲載されており、テーマに「宇宙飛行士に聞く」とあった。日常生活と宇宙飛行士との間にはかなり距離があるようにも感じるが、どのようなねらいで開催されたかお聞きしたい。

事務局 この講演会は、「夢を叶えるためにはどうすればよいか」を軸にした講演会で、ご自身の可能性やチャンスを広げるためのヒントを得てもらえたらと企画した。質問コーナーでは、「宇宙飛行士になるために子どもの頃からできることは？」に対して「家のお手伝いをしよう」というお答えがあった。宇宙でのミッションにはチームワークが不可欠。家族はチームであり、自分ができることや、どうすれば周りの人が助かるかを考えながらお手伝いを・・・とのこと。講演を通して、さまざまな気づきを得られ、日々の暮らしに意識の変化をもたらすきっかけとなったものと考えている。

中嶋委員 広い視点を持って進めていくということで理解した。

大谷議長 事業のターゲットを働き盛り世代に絞っていてわかりやすい。

岡島委員 学校部活動について、すべての部活動を地域に移行するのか。

事務局 元々、先生の働き方改革がきっかけ。国の方針は、休日の学校部活動を地域に移行させていくということである。

大谷議長 大辻委員からも何かありましたら。

大辻委員 すべての学校部活動を地域に移行するのではない。それは教育的意義を持って学校は部活動を実施しているから。土日の先生の負担軽減のために、学校への講師派遣というモデル事業を実施している。ただ、すべての学校で講師派遣を実施するのは不可能であり、派遣を一旦リセットして総合型地域スポーツクラブで、学校部活動受託をやっていこうとしている。

清水委員 昨今、地域では子ども会活動が衰退しているが現状はどうなっているのか。「地域で子どもを育む」という目標からどのように考えているか。

連委員 地域の子ども会が減少しているのは役員のなり手がいないことが主因と考えるが、生駒市子ども会育成連絡協議会に加入している子ども会も減少しており、現在7団体。現在、市子連としては、各子ども会の活動をするうえで参考となるよう意見交換会を実施している。また、青少年の地域リーダーを育成するため、小学校5、6年生と中学、高校生の計70名に対して年10回程度の青少年育成支援の研修を実施している。

事務局 子ども会の減少は課題であると認識しているが、保護者だけでは子ども会の運営が成り立たないので、予算も含め、地域の方々に子ども会を支える必要があるのではないかと考える。

大谷議長 予算は自治会が出しているのか。

坂本委員 自治会によって違う。子ども会の減少については、今後の新しい子ども会の形を検討する時期ではないか。イベントを開催すれば子どもたちはいっぱい集まるのだから、社会構造が多様化する中で新しい子ども会の姿を議論した方が将来性はあると個人的に感じる。

それと、基本方針について、「すべてのライフステージ」といえば聞こえはよいが、あいまいではないか。年度毎に具体的なターゲットがあれば効果が増

すのではないかと思います。もう少し具体的なメッセージを出した方が市民に理解しやすく伝わるのではないかと。

事務局 基本方針は現行の「教育大綱」の基本方針に合わせることにしているため、令和5年度はこのままとしたい。現在の第2次教育大綱は令和6年6月まで、来年度の令和5年度に第3次教育大綱の案を作成する。第2次との整合性を図る必要もあるが、令和6年度以降の各年度の基本方針を作成する際にご指摘の点も考慮していきたい。

上武委員 ischool で働き盛り世代にターゲットを絞って進めていることはよい。中小企業にとっては社員教育を行うのに時間の余裕がない会社が多いように思う。ischool のような場で学んだことを社業にも生かしてほしいし、宇宙飛行士の話など「情熱が伝わっていく」というのも大事なこと。また、子どものときから読書に親しめる環境や地域愛を育むことにつながる事業内容を期待する。地域が安定すれば地元企業に就職する人が増えることにもつながると考えている。

神田委員 ischool の認知度について、働き盛り世代への周知はどのように行っているのか。

事務局 市内小中学校のメールシステムで情報発信するなど広報周知には力を入れている。定期的にサイトを見てもらうきっかけにもなると考えている。

大谷議長 小中学校の保護者の方以外の働き盛り世代への情報発信も検討いただければ。

清水委員 目指す市民像を協議してはどうか。事業を実施しても何かねらいがなければただのイベント屋だ。生駒市がどんな市民を育てたいかということをわかりやすい言葉で目標に入れる。そして、それを具体化するために1年ごとに検証して積み重ねていく。そういう社会教育委員会議になってほしい。

事務局 令和5年度は1年かけて令和6年度からの第3次教育大綱を作成する。それに向け、社会教育委員会議でもご意見をいただき大綱に反映していきたい。皆さまのご協力をまたよろしくお願ひしたい。

岩本委員 幼保連携の取組で市が取り組んでいる事業をもっと活用したい。かつて市に

あったボランティアリストが役立った。また、先ほど子ども会の役員の成り手不足というお話があったが、当園では役員決めが難しいため育友会を廃止した。その一方、クラスサポーターとして園に協力したいという方は多く、多数の手が挙がった。保護者や祖父母の中には平日お手伝いに来てくださる人もいるのでもっと巻き込んでいきたい。また、LINE を活用して園行事を配信しているが、たくさん登録していただいている。情報発信でも協力できることはあるかもしれない。

岡本委員 3月に絵本作家を招いた絵本イベントを行うが、申込みのメールに受付初日から多数の応募があった。また、父親の参加申込みが多い。私たちが思う以上に、お父さんは子どもや教育に関心があり、親子で楽しみたいという気持ちが強いことを感じる。担い手不足も含め、若い人の参加も呼びかけ次第ではないかと思う。来年度の事業予定で、図書館本館のリニューアルとそれに向けてのワークショップについてもう少し詳しく知りたい。

事務局 来年度、ワークショップを3回予定している。空間コーディネータや建築士の方を迎え、図書館の利用者や関係者の参加を募る予定。

大谷議長 図書館ではさまざまな取組をされているが、出張図書館の取組は素晴らしいと思う。

吉川副議長 この重点目標には、さまざまな施策や事業が網羅され、楽しい内容も多いが、一定の支援が必要な子どもたちに対する取組は、重点目標「1」の中の「社会での生きづらさや困難を抱える子どもや若者に対して、自立した社会生活に向けた支援を行います」が該当する。困難を抱えた子どもたちが学校を卒業した後、自分らしく生きていけるような施策をぜひお願いしたい。

大谷議長 みなさま、ご意見、ご質問をいただきありがとうございました。  
ほかに何かあればお願いします。

中嶋委員 目標の下段のコロナ対応の記載部分について、令和5年度からは、それぞれの事業の中で継続して対応するため、来年度の目標からはコロナ対応の記載欄は削除するとの説明があったが、実際はまだアフターコロナではないので

この記載はまだ必要ではないか。

事務局 たとえば、生涯学習施設のWiFi環境やオンライン配信、図書館での電子書籍など、コロナ禍で開始した取組も今後、引き続き実施していくため削除したものであるが、ご意見をふまえて記載を残すことはできる。

中嶋委員 残すほうがありがたい。

坂本委員 「アフターコロナ」という表現については、「アフター」なのか「ウイズコロナ」なのか、国の指針などと合わせてはどうか。

事務局 現在、ガイドラインなど色々な指針が出ているので、それも含めて記載は残す方向で表現を検討したい。

大谷議長 基本方針及び重点目標は、教育委員会の承認を得る必要がある。今後の予定を伺いたい。

事務局 議長とも相談し、本日の案で修正できる部分は修正した上で、2月末の定例教育委員会に提案する。教育委員会で承認されたらみなさまに送付します。

大谷議長 その他として、何かありますか。

事務局 本日お手元に、3月までに予定されている各課の事業のちらしを配付させていただいている。委員のみなさまにもぜひご参加いただけたらと思う。

大谷議長 社会教育委員の役割の1つに「調査研究」がある。現場に足を運ぶからこそ見えてくることもあるので、興味を持っていただいてご参加いただけたら。そして、参加された感想やご意見を、ぜひ事務局へお伝えいただきたい。

事務局 本年度の社会教育委員会議は今回で終了となる。今年度は、委員のみなさまに活動紹介をしていただいたり、教育委員の方々との意見交換会を開催したり、横のつながりを広げていただくきっかけとなった。

また、研修会等にも積極的にご参加いただいた。来週開催される社会教育学校にも4名の方から参加申込をいただいております。次回の会議で情報共有していただけたらありがたい。

来年度の第1回の社会教育委員会議は7月頃を予定。

みなさま、1年間どうもありがとうございました。来年度も引き続き、よろ

しくお願いいたします。